

躍進企業応援マガジン

SPREAD YOUR COMPANY'S VOICE TO A DISTANCE

COMPANY TANK

カンパニータンク

11 2014
Nov.

CLOSE UP!

ライフスタイル・リアルティ 株式会社
代表取締役 浅原 与聖夫

株式会社 アルファTKG
代表取締役 高木 俊郎

株式会社 上村建設
代表取締役 上村 尊要

株式会社 ワイズプランニング
代表取締役 利守 康之

株式会社 アートシステム
代表取締役 山本 晃永

有限会社 飛龍スチール
代表取締役 星野 慎一

夢ごこちの湯 ゆのあ
代表 笹本 智詔

巻頭企画 天馬空を行く

唯一無二のキャリアを経た
最年少“金メダリスト”の視界

スイミングアドバイザー 岩崎 恭子

シリーズ総力特集

企業は人なり

地域のおすすめスポット ～飲食店特集～



代表取締役
木口 達也

埼玉県出身。学業修了後は出版社に勤め、後に父親からの引き合いを受けて、父親が1979年に創業した日本シーム（株）に入社する。経営目線による現場改革で会社の体質改善に努めた後、2008年に同社の代表職を承継した。新たな試みも取り入れながら、会社づくりを一手に担っている。

リサイクル用産業機械の開発で循環型社会を水面下で支える

プラスチック製品のリサイクルを行う産業用機械の設計開発から販売までを手がける日本シーム（株）。同社の2代目として事業を展開する木口社長の事業や人材育成への思いについて、女優の矢部美穂さんが伺った。

Guest Comment>>>

矢部 美穂（女優）

社内には活気がみなぎっており、雰囲気の良いと感じられました。リサイクルされた資材は衣類をはじめ、様々な製品に使用されているとのこと。普段はなかなか接点のない業界ですが、私たちの生活を支えてくださる大切な存在です。今後も新たな発想によるものづくりで、世の中のエコに貢献されてください。同世代として、私も応援しています！



「社員に任せる」経営術

矢部 社長はこちらの会社の2代目だそうですね。いずれはこの会社を継ごうというお考えはあったのでしょうか。

木口 いえ、学生時代にはアルバイトという形で手伝ったりもしましたが、その頃は全く興味はありませんでした。しかし社会人を経験してから改めて家業を見てみると、会社の経営やものづくりという仕事の面白さに気が付くようになっていたのです。そして父からの引き合いもあって弊社に入社し、2008年に正式に代表取締役となりました。

矢部 お若くして組織を束ねる立場に就くプレッシャーがあったと思います。

木口 分からないことだらけでしたの

で、当時は経営や人材育成に関する本を徹底的に読んで知識を得ていました。

中でも特に学んだのは、「社員に任せる」ことの大切さ。最初の頃の私は、何でも自分1人でやろうとしていました。しかし1人でできることには限界がありますし、会社が安定して事業を続けていくには社員の頑張りが不可欠です。そこで私は、任せられる仕事はできる限り社員それぞれに任せていくことにしました。そうすると一人ひとりにやりがいや責任感が生まれ、本人の能力以上の仕事をしてくれます。そして、成長が早まるのがわかりました。

矢部 実際、働かれている社員の人も仕事もやりやすいですね。

木口 それは結果として会社の売り上げ

にもつながるわけですから、本当にありがたいと感じていますし、私はそんな彼らがいつまでも前向きに楽しく働ける職場環境づくりに努めています。そうした中で、「『ものづくり』は『人づくり』」という言葉の通り、私も含めた社員一同で人間性を高めていきたいですね。

エコ時代のオンリーワンに

矢部 では、お仕事のことにしてお伺いしてきたいと思います。こちらは産業機械をつくる会社とのことですが、具体的にはどのようなものを？

木口 プラスチックをリサイクルする際の中間工程を担う機械を、設計開発から製造・販売まで手がけています。例えば飲食物の空き容器やビニール袋、ペットボトルといったプラスチック製のごみを弊社の機械にかけて粉碎・洗浄することで、リサイクル資源として再利用が可能になるのです。容器には食べ物などの汚れがついていますが、そのまま処理できるというのが大きなメリットとして挙げられます。また、ペットボトルについているラベルを剥離・分離する機械も独自開発し、特許を取得しています。

矢部 いわゆる「エコ」の根幹を担う事業というわけですね。手応えも大きいのではないのでしょうか。

木口 いえ、むしろ新しいものをつくり続けなくてはならないというプレッシャーのほうが大きいです。お客様のニーズに応え続けなければ安定的な売上

■日本シーム（株） 設計・開発機械



- ・ペットボトルからラベルを剥離し、洗浄する「ラベセバAQUA」[写真左] ★特許取得製品
- ・ペットボトルやフィルムを洗浄・粉碎する洗浄粉碎機「PF-2000」[写真中央]
- ・残渣付きの食品容器を切断・洗浄する切断洗浄機「破！洗（はせん）」[写真右] ★特許取得製品

には結びつきませんし、一方で新製品を市場に出すと、中国・韓国・台湾などのメーカーがすぐに安価な類似品を販売してきますからね。

矢部 しかし、そうそうすぐに新製品をつくれるわけではないと思います。

木口 そこで我々が他社との差別化をする意味で行っているのが、プラント形態での提案です。我々は粉碎機や洗浄機など、リサイクルに必要な産業機械を独自開発していますので、それらを組み合わせたセットの形でお客様に提示をしていくのです。中国や韓国のメーカーは、機械の製造自体は真似をできても、それらを組み合わせるノウハウは持ち合わせていません。機械単体を製造・販売するメーカー機能、それらを複合させるプラント機能、さらにアフターフォローを行うメンテナンス機能、この3つを一手に引き受けられるのが弊社の強みと言えるでしょう。

矢部 では、社長の考えるこのお仕事の

魅力とは？

木口 自分で考えたものがゼロベースで形になることです。小さいながらもオリジナルブランドで仕事をしている会社ですから、弊社の製品でお客様の喜ぶ姿を見る時は本当に嬉しく思います。

矢部 開発から販売までを行う会社だからこそ、思いもひとしおなのでしょうね。今後の展開も気になります。

木口 タイやベトナム、フィリピンといった国々の成長を見据え、現在は東南アジア圏の展示会に弊社の製品を出展する準備を進めています。ただ、ものづくりに関してはあくまでも日本国内で行い、メイドインジャパンの製品として海外に展開していきたいですね。そして、「環境機械だったら日本シームの機械しかない」という存在になれば最高です。そのためには私を含め、社員一人ひとりの成長が必須ですから、皆で日々自らの能力を高め、お客様に100%の満足を提供できる機械をつくり続けていきます。



Company Data>>>

日本シーム 株式会社

[本社・工場] 〒334-0054
埼玉県川口市安行北谷 665
TEL 048-298-7700 / FAX 048-298-7750
URL <http://www.nihon-cim.co.jp>
[刃物 研磨センター] 〒574-0061
大阪府大東市大東町 10-22
TEL 072-874-1083